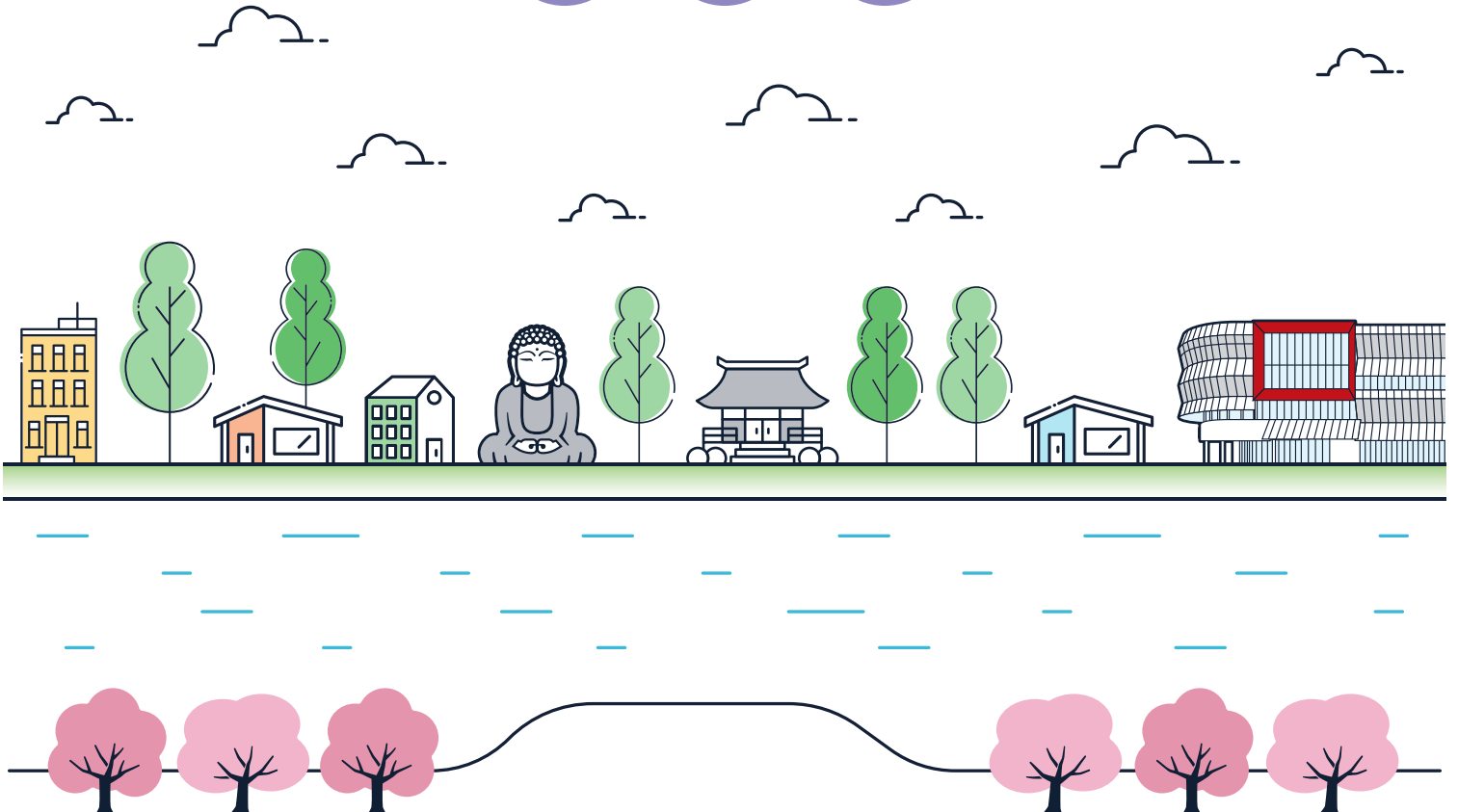


第6次江南市総合計画 後期基本計画

令和6年度 ▶ 令和9年度

愛と知との 江南市計画

概 要 版



【市章】

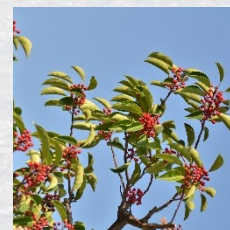
「コウナン」の文字を図案化し、江南市政の融和と産業都市として一大飛躍、発展を表象したもので、昭和 30 年 3 月 1 日に制定されました。



【市の木】くろがねもち

枝は黒みを帯び、葉は互生した楕円形の常緑高木です。

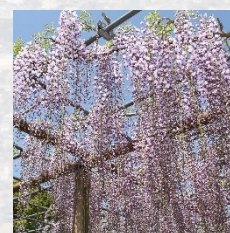
自然の美を生かした緑化推進を願って昭和 48 年 12 月 7 日に制定されました。



【市の花】ふじ

古くから観賞用植物とされ、万葉集にも詠まれています。

市民に幅広く親しまれるとともに美化運動の推進を願って、昭和 48 年 12 月 7 日に制定されました。



【江南市民憲章】（昭和 49 年 6 月 1 日制定）

わたしたちの江南市は、木曾の清流にはぐくまれた広やかな濃尾平野の北部にあり、伝統にかがやく産業と文化のまちです。

わたしたちは、この江南市を愛し、市民であることに誇りと責任をもっています。

このまちを、さらに明るく住みよい豊かなまちへの願いをこめてこの憲章を定めます。

わたしたち、江南市民は

- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 心のかよう、温かいまちにしましょう
- 1 健康につとめ、明るい豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、住みよいまちにしましょう
- 1 教養を深め、文化の高いまちにしましょう

【愛と知との江南市計画】

「愛と知との江南市計画」とは、第 6 次江南市総合計画の愛称であり、応募作品の中から選考委員会によって選考されました。

この愛称は、江南市を愛し、総合計画を意志堅固に進め、愛知県の江南市ということアピールするとともに、市民と行政が連携して知恵を出し合い、親しみやすく暮らしやすい市をめざしてほしいとの願いが込められています。



江南市マスコットキャラクター

ふじか
「藤花ちゃん」

「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」 の実現に向けて



本市は、平成 30 年 3 月に市民と行政の総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、市の最上位計画である「第 6 次江南市総合計画」を策定し、市の将来像として「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」を掲げ、その実現に向け、これまでさまざまな施策に計画的に取り組んでまいりました。

総合計画では、江南市がめざす姿の実現に向け、具体的な施策や事業を展開するために「基本計画」を定めており、平成 30 年度から令和 5 年度までの「前期基本計画」が終了することから、前期基本計画の成果の達成状況を踏まえ、未達成の課題に確実に対応するため、令和 6 年度から令和 9 年度までを計画期間とする「後期基本計画」を策定いたしました。

人口減少や少子高齢化の進行など、人口構造の変化による社会の在り方が大きく変化していく中、新たな社会潮流として、人々の働き方や価値観の多様化、安心・安全な生活へのニーズの高まり、デジタル技術の発展、SDGs やカーボンニュートラルの実現など、取り組んでいかなければならない社会課題は数多くございます。

後期基本計画では、私が強く推進する取り組みを集約しました「市長の戦略政策」として、「にぎわいと住みよさの向上」、「全世代への安心としあわせの提供」、「生きがいやコミュニティの創出」という 3 つの政策を掲げ、すべての世代に実感できるしあわせを届けることを目標としています。その実現に向けて、安定した行財政基盤の構築を基本とし、これまで以上に官民連携・地域連携の促進を図り、各施策を着実に進め、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

計画の推進につきましては、行政が一丸となり、市民の皆様との対話を心掛けながら、これまでと同様、市民と行政の協働により進めてまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご議論をいただきました総合計画市民会議委員の皆様や市議会議員の皆様を始め、多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

江南市長 澤田和延

策定経過

「市民と行政が共有してまちづくりに取り組める計画」であることから、その達成状況の確認や基本計画の見直しについても、市民の皆様と市との協働により作業を進めてきました。

市では、各課において進捗状況を検証しながら、検討を重ねてきました。

また、市民会議では、公募市民、各種団体の代表、市職員が活発な議論を行い、合意形成を図ってきました。

そのほか、市民満足度調査の実施や住民説明会を開催し、市民の皆様からのご意見やご提案などを踏まえて、計画の見直しを行いました。

令和 5 年	7 月	市民満足度調査の実施
	8 月	
	11 月	
令和 6 年	12 月	市民会議（分科会）の開催
	1 月	
	2 月	市民会議（全体会議）の開催 パブリックコメントの実施 住民説明会の開催
	3 月	第 6 次総合計画後期基本計画の策定

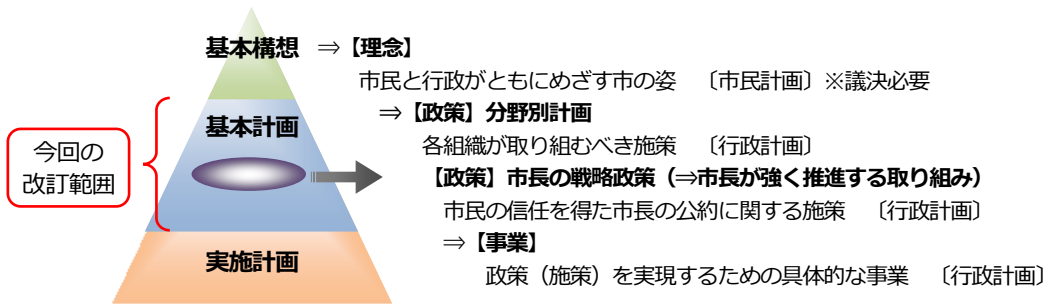
「第Ⅰ章 はじめに」

計画の位置づけ

《第6次江南市総合計画後期基本計画とは》

第6次江南市総合計画前期基本計画の計画期間が令和5年度で終了し、令和6年度から新たに後期基本計画の計画期間が開始します。第6次江南市総合計画（以降、第6次総合計画という。）は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されますが、第6次江南市総合計画後期基本計画（以降、後期基本計画という。）は、後期計画期間における「基本計画」をまとめたものです。

【構成のイメージ図】



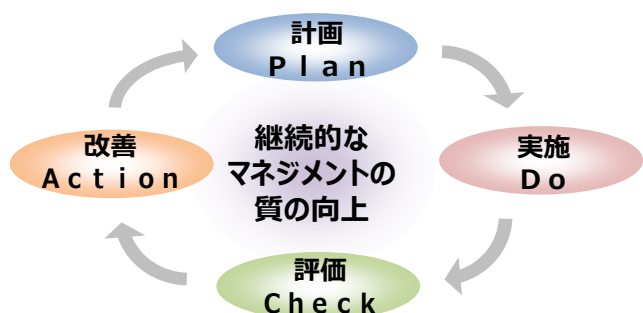
【期間のイメージ図】

年 度	平成				令和										
	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
市長任期	←				←				←						
戦略計画	←														
第6次総合計画	基本構想	←													
	基本計画					← 前期基本計画					← 後期基本計画				
	実施計画					←					←				← 毎年ローリング
総地方戦略	← 第1期				← 第2期										
	← 総合戦略を総合計画に統合														
					← 第3期										

計画の運用

「第6次総合計画」の進行管理は、PDCAサイクルに沿って、定期的な「成果測定（評価）」と継続的な「改善」を通じて実施します。

【PDCAサイクルのイメージ】

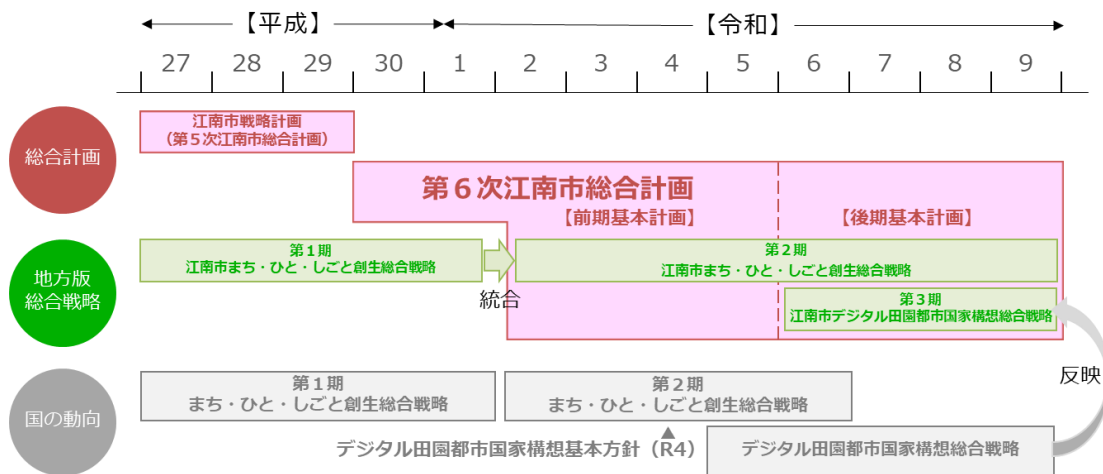


新たに取り入れる考え方

《総合戦略との関係》

人口減少への対応として地方創生が進められており、江南市も「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「江南市人口ビジョン」と「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少への対策を進めています。総合戦略の課題への取り組みはまちづくりにおいて重要であり、令和元年度以降は総合計画内に総合戦略を包含し、人口減少社会に対応するための施策展開を図ってきました。国ではデジタルを活用した地方創生に注力していることから、総合計画の改訂にあわせて、地方版総合戦略としても国の総合戦略の趣旨をふまえたデジタルを活用した地方創生を進められるよう、総合計画の成果目標と総合戦略のK P I（重要業績評価指標）を一体的に管理し、地方創生を推進していくこととしています。

【総合計画と総合戦略のイメージ図】



《SDGsとの関係》

SDGsの理念を尊重し、本市においても持続可能な社会を実現するため、後期基本計画では、基本計画に定める市長の戦略政策や分野別計画の柱を17のゴールと関連付け、総合計画とSDGsを一体的に推進する枠組みをつくることにより、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組み、全体最適なまちづくりをめざすこととしています。

【記載例】

【市長の戦略政策とSDGsの関連付け】

政策 1 **にぎわいと住みよさの向上** 住みよさ

～ハードもソフトも快適で住みよさを実感できるまち～

7 持続可能なエネルギー

8 質の高い雇用を創出

9 産業と地域コミュニティの連携強化

11 持続可能な都市と地域

13 気候変動に起因している環境汚染を削減

【分野別計画とSDGsの関連付け】

I まち 柱 1 **快適な生活環境の維持** — 環境保全 —

3 持続可能な消費と生産

6 気候変動に起因している水と海資源の確保

7 持続可能なエネルギー

8 質の高い雇用を創出

9 産業と地域コミュニティの連携強化

11 持続可能な都市と地域

12 つぎの世代にわたる資源の持続可能な消費と生産

13 気候変動に起因している環境汚染を削減

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを保ち増進させよう

17 持続可能な消費と生産

基本構想

《江南市の将来像》

江南市では、将来の少子高齢化・人口減少を見据え、転出者の抑制による定住化の促進と、出産・子育てのしやすい地域社会の構築による自然増を図り、すべての人がゆとりと生きがいをもって暮らせる、生活の場としての魅力あるまちづくりをめざして、めざす都市の将来像を次のように定めています。

地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市 ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～

基本目標 1：地域の魅力を活かした機能的なまちづくり

江南市の魅力を活かした生活しやすいまちとして、「生活環境が快適なまち」の実現をめざします。

基本目標 2：子どもが生き生き育つ環境づくり

子育て・教育環境づくりを推進し、地域が支える「子どもが生き生き育つまち」の実現をめざします。

基本目標 3：生活を支える雇用・就労環境づくり

誰もが生涯を通じて社会と関わりをもてる「生涯活躍できるまち」の実現をめざします。

基本目標 4：安心・安全の地域づくり

一人ひとりの支え合いの意識の醸成を図り、安心して地域で暮らし続けられることを通じて、健全で持続的なコミュニティの維持による「安心・安全なまち」の実現をめざします。

基本目標 5：常に改革を進める行政

市民と行政が協働して的確な施策実現を行うことによる「信頼される行政」の実現をめざします。

◆生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。

「住宅都市」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。



《市民協働のあり方》

次のような市民協働をめざし、基本方針を定め、市民協働を進めます。

めざす市民協働のすがた

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。



市民協働の基本方針

- 1 人材育成
- 2 情報共有
- 3 市民参加の推進
- 4 協働の環境づくり

協働の基本的な考え方

協働の定義：江南市の市民協働における「協働」とは、「市民、事業者、行政などが、それぞれの立場及び特性を相互に尊重した上で、それぞれの役割及び責務を自覚し、対等な立場で目的の遂行に向かって協力すること」をいいます。様々な主体が、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、相互に協力して活動することにより、そこに相乗効果が生まれ、地域に新たな価値がもたらされることが期待されます。

協働の目的と意義：これからの時代に適応した、持続可能な文化的で成熟した新しい地域社会を築いていくことが求められています。「協働」は、市民、事業者、行政などが互いに助け合い、力を発揮し合うことにより、地域全体で新しい「公共」を創造し、市民を幸せにすることができる可能性をもっています。

協働の担い手：市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などの地域構成員が、協働の担い手となります。

協働の原則：「市民主体」、「多様な主体間での協働」、「平等」、「情報共有」を原則とします。

《行政経営のあり方》

次のような行政をめざし、基本方針を定め、行政経営を進めます。

めざす行政経営のすがた

市長の戦略政策により、政策の将来ビジョンが示され、各組織がその実現に向けて組織を横断して政策に取り組んでいる。

また、行政の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、行政マネジメントを継続的に実施し、効率的で効果的な業務執行をしている。

それにより、限られた経営資源の中で、持続可能な財政基盤を確保し、最大の成果を実現することで、市民からの信頼を得ている。

全職員が、常に創意工夫をしながら業務を遂行するとともに、経営能力を向上させる努力を惜しまず、最大限の力を発揮している。



行政経営の基本方針

- 1 市長の戦略政策の実現
- 2 トップマネジメントの政策立案機能の強化
- 3 自立型の経営システムの確立
- 4 経営のできる人材の育成
- 5 職員意識と組織風土の改革

「第Ⅱ章 改訂の考え方」

計画の見直し方針

《見直しの背景》

基本計画は、平成 30 年度から令和 5 年度の前期計画期間を終え、各分野で成果があがりつつある一方、令和 9 年度の最終目標の達成に向けて、まだ重要な課題が残る分野もあります。また、人口減少・少子高齢化や安心・安全な生活へのニーズの高まり、デジタル技術の発展など、社会経済情勢の変化は大きく、今後適切な対応が求められます。

このような状況を受け、平成 30 年度に策定した前期基本計画の内容を見直し、令和 6 年度からの後期計画期間における、江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、第 6 次江南市総合計画後期基本計画を策定するものです。

《見直し方針》

● 前期計画の成果と課題への対応

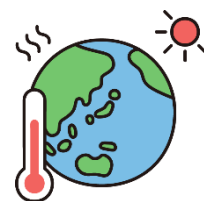
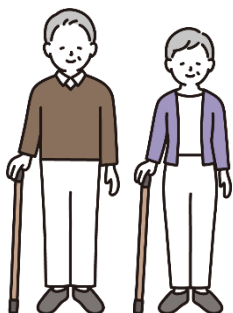
市民満足度調査などにより確認した前期基本計画の達成状況を踏まえ、これまでの取り組みの成熟化やより発展的な課題への対応など、前期計画期間で達成できた成果をステップアップしていくことが重要となります。また、残された課題を明らかにし、残る 4 年間で計画的かつ確実に対応できるよう、計画内容の見直しを図りました。

● 新たな社会潮流の反映

江南市をとりまく社会経済情勢などの外部の環境変化に伴い、人口減少社会への対応だけでなく、価値観の多様化、デジタル技術の発展、脱炭素社会の実現など、新たな課題に取り組んでいく必要があります。後期基本計画では、SDGs の取り組みを一体的に推進することに加え、国の「デジタル田園都市国家基本構想」を受け、地方版総合戦略を包含することにより、デジタルを活用した社会課題の解決や魅力向上という視点を取り入れ、計画内容の見直しを図りました。

● 市民協働によるまちづくりの推進

市民満足度調査では、まちづくりの課題や、今後のあるべき方向性について、市民の考えをお聞きしています。後期基本計画では、市民ニーズや市民意見を十分に取り入れ、市民と職員が共に考えながら計画内容の見直しを進めました。また、地域課題の解決に向け、SDGs などを通じて、市民と行政がよりつながることのできる手法について、意見交換を行い、計画内容の見直しを図りました。



前期基本計画期間の成果と課題

《全分野の目標達成状況》

第6次総合計画のすべての成果指標の平均目標達成率は91.5%となっています。また、達成率90%以上の指標は54.7%で、約半数の指標が目標を達成している状況といえます。

(※前期基本計画の成果指標のうち、後期基本計画でも継続使用している指標について分析)

《参考》第6次総合計画では、各柱の成果目標に次のとおり指標を設定し、成果目標の達成状況等を確認することとしています。

全体目標：市民と行政の協働によりめざす目標を、市民満足度による数値目標で表したものの。数値は市民満足度調査により測定します。

個別目標：行政の取り組みによりめざす目標を、統計などの具体的な数値目標で表したものの。数値は統計などにより測定します。

◆平均目標達成率から見る目標達成状況




各指標の達成率の平均値を算出した、全分野及び各分野の目標達成状況は下表のとおりです。

区分	〈全体+個別〉	〈全体目標〉	〈個別目標〉
全分野	91.5%	74.6%	95.9%
I まちづくり分野	94.0%	80.5%	98.1%
II ひとづくり分野	83.8%	84.4%	83.8%
III しごとづくり分野	81.1%	87.2%	76.3%
IV ちいきづくり分野	90.4%	72.8%	94.0%
V 行政分野	102.0%	57.5%	116.3%

※指標の達成率は、令和5年8月現在で、実績値の把握できるものを集計

◆指標の達成率別から見る目標達成状況

各指標を達成率別に整理した、全分野及び各分野の目標達成状況は下表のとおりです。

区分	指標数	達成率		
		90%以上 	70%以上 	70%未満 
全分野	181項目	99項目 (54.7%)	39項目 (21.5%)	43項目 (23.8%)
I まちづくり分野	43項目	29項目	9項目	5項目
II ひとづくり分野	45項目	23項目	10項目	12項目
III しごとづくり分野	9項目	3項目	3項目	3項目
IV ちいきづくり分野	47項目	27項目	7項目	13項目
V 行政分野	37項目	17項目	10項目	10項目

～ 参考 ～ 市民満足度調査の結果（前回調査との比較）

市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「第6次江南市総合計画における目標達成状況把握のための市民満足度調査」（アンケート）を実施しました。

基本計画掲載指標に関連する47調査項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

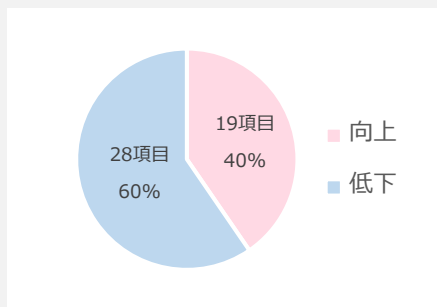
結果は、約4割の項目が前回より向上、約6割の項目が前回より低下の結果となりました。

◆前回調査とは

平成28年4月に実施した市民意向調査と平成29年3月に実施した市民満足度調査をいいます。

◆「満足度」とは

各設問について、5つの設問のうち上位2つ（「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答）を選択した人の割合を満足度としています。



- ・ 4割近くの設問で満足度が「向上」しました。また、このうちの4項目は前回から5ポイント以上の伸びがありました。
- ・ 一方で、「低下」した28項目のうち、7項目は、前回から10ポイント以上大きく落ち込みました。

分野	向上			低下		
	10pt 以上	5pt 以上 10pt 未満	5pt 未満	10pt 以上	5pt 以上 10pt 未満	5pt 未満
まちづくり	1	1	4	1	5	2
ひとづくり		1	3		3	2
しごとづくり			1			3
ちいきづくり		1	4	3		5
行政			3	3		1



《各分野の目標達成状況及び成果と課題》

I まちづくり分野

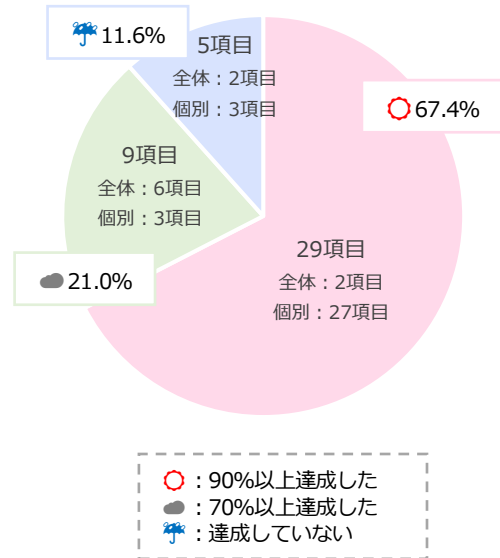
《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	80.5%	●
個別目標の平均目標達成率	98.1%	○

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 環境保全	75.2%	109.2%
柱2 ごみ減量・処理	82.0%	89.7%
柱3 市街地整備	78.8%	99.6%
柱4 公園緑地	75.4%	100.2%
柱5 道路	71.4%	100.5%
柱6 住環境	69.3%	93.1%
柱7 治水	78.5%	77.9%
柱8 下水道	110.2%	98.5%
柱9 上水道	89.3%	100.8%

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱1	グリーンエネルギー導入の促進 住宅用太陽光発電システムなどの設置費補助金制度を拡充	環境保全活動の促進 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による環境保全活動を行う機会の減少
柱2	ごみ減量・リサイクルの取り組み推進 家庭系・事業系可燃ごみ排出量の抑制 地区懇談会、ボランティア分別指導員養成講座、事業所へのチラシ配布などのごみ減量啓発活動を実施 資源ごみリサイクルステーションの増設 令和6年度に布袋駅北側鉄道高架下に新たにリサイクルステーションを開設	衛生的に暮らしていると感じる市民の割合の減少 近年の高齢化の進展や生活スタイルの多様化に伴い、資源ごみが出しづらいつと感じる人の割合が増えている
柱3	居住誘導区域内の面積の維持 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき集約型都市構造の推進を図り、居住誘導区域の面積を維持 駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合の増加 布袋駅周辺の区画整理事業や鉄道高架化整備事業、周辺道路及び駅前広場などの都市基盤整備により、人々が集いにぎわっていると感じる市民が増加	公共交通の利便性向上 高齢化の進展、免許返納者の増加などに伴う、公共交通に対する市民の要望の多様化と重要度の上昇 江南駅・布袋駅の乗降客数の減少 江南駅・布袋駅の1日当たりの乗降客数の減少 都市計画道路の整備率向上 都市計画道路は計画延長約51kmのうち約3割が未整備
柱4	都市公園面積の増加 最勝寺跡公園（R2）の整備、フラワーパーク江南Ⅱ期地区（R4）開園により、市民1人当たりの都市公園面積が増加	地域で管理されている公園緑地の減少 地域の方々の高齢化などにより、公園緑地の地域による維持管理が困難になってきている

	成果	課題
柱5	<p>道路占用料などの収納率の上昇 適切に督促を行うことにより、道路占用料などの収納率が上昇</p> <p>道路整備の推進 地元からの要望をもとにした道路側溝・舗装などの工事により、側溝整備率、舗装整備率が増加</p>	<p>側溝整備率の目標値未達成 優先度が高いと考えられる側溝の新設に関する地元からの要望が少なかったことにより、若干ではあるが、目標値を下回った</p>
柱6	<p>民間建築物ブロック塀撤去費補助金制度の創設 平成30年度から、地震などによる倒壊の危険性があるブロック塀などの撤去費補助制度を創設</p> <p>危険空き家解体工事費補助金制度の創設 令和元年度から、倒壊などのおそれのある危険な空き家の解体工事費補助制度を創設</p>	<p>木造住宅の耐震診断・改修の推進 木造住宅の耐震改修工事費が高額なため、補助金交付申請件数が伸び悩んでいる</p> <p>地域問題となりえる空家等の抑制 適切な管理が行われていない空家等が、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている</p>
柱7	<p>雨水貯留浸透施設設置費補助金申請数の増加 市民が担う雨水貯留浸透施設の設置に対しての補助金申請累計件数が増加</p>	<p>雨水貯留浸透施設設置費補助金申請数の鈍化 近年、補助金申請件数が、過去の多い年度と比べ2割程度で推移し低迷</p>
柱8	<p>企業会計への移行 下水道事業の経営状況を明確にするため、令和2年度から企業会計へ移行し、中長期的な経営の基本計画となる「江南市下水道事業経営戦略」を策定</p> <p>下水道普及率の向上 下水道計画区域内の整備工事を進め、下水道を使用できる人口が増加</p>	<p>水洗化率の低迷 水洗化率は増加傾向にあるが、類似団体や全国平均と比較して低迷 また、水洗化率の低迷が下水道使用料の不足の一因となっている</p>
柱9	<p>総収支比率の改善 令和2年度の水道料金の改定により、総収支比率が大きく改善</p> <p>管路耐震適合率の向上 導水管・配水管の計画的な更新は概ね順調に進行 引き続き管路耐震適合率の向上を図る</p>	<p>有収率の向上 配水量に対する有収水量の割合を示す有収率の向上を図るため、漏水や洗管作業などの水量を抑制することが重要</p>



II ひとつづくり分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

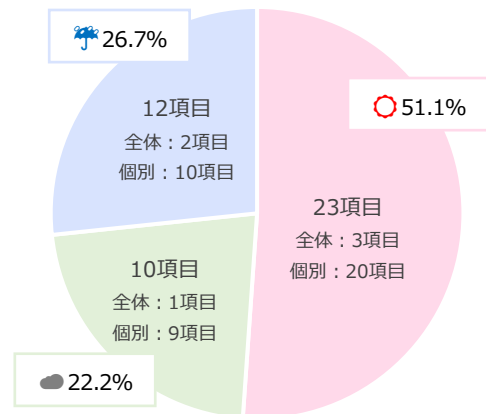
全体目標の平均目標達成率	84.4%	●
個別目標の平均目標達成率	83.8%	●

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 学校教育	93.3%	98.6%
柱2 教育環境	91.0%	60.7%
柱3 生涯学習	59.0%	79.0%
柱4 文化・交流	98.8%	76.2%
柱5 子育て	82.2%	88.4%

○ : 90%以上達成した
● : 70%以上達成した
✖ : 達成していない

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>学校給食における地場産物の割合の向上 安心・安全な給食の提供を図るため、学校給食における地場産物の割合が向上</p> <p>特別支援学級等支援職員の増員 障害のある児童・生徒への支援体制の充実を図るため、特別支援学級等支援職員を増員</p> <p>G I G Aスクール構想の推進 校内LAN環境の整備及び1人1台の学習者用端末を整備</p> <p>学校施設的环境改善を推進 全小中学校の普通教室などにエアコンを設置するとともに、便所の洋式化を完了</p>	<p>学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合の減少 献立作成委員会や物資購入選定委員会を通じた給食の提供を行っているが、残食が目立つ傾向が見受けられる</p> <p>登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合の減少 栄養教諭が中心となり、食育の推進を図るも、朝食を食べている児童・生徒の割合は減少</p> <p>学習者用端末の更新 端末の自動更新ポリシーの期限やバッテリー劣化の問題から、学習者用端末の更新について、多額の費用が必要</p> <p>校舎照明器具の更新 蛍光灯の生産中止問題や環境負荷・維持管理費削減の観点から、校舎照明器具のLED化が必要となるが多額の費用が必要</p>
柱2	<p>校内教育支援センターの設置 令和4年11月から校内教育支援センターを小学校へ順次設置開始 中学校は全校設置済み</p>	<p>不登校の児童・生徒数の割合の増加 不登校の児童・生徒数が年々増加</p>
柱3	<p>生涯学習活動拠点の整備 生涯学習活動の拠点として、令和4年度に古北にじいる会館を整備し、令和5年度に布袋駅東複合公共施設内に新図書館を整備すると同時に、古北にじいる会館の図書・学習室を図書館の分室として整備</p> <p>江南市スポーツセンターの建設 平成30年度に供用開始</p> <p>江南市スポーツ推進計画の策定 令和元年度に策定</p> <p>楽しみん祭の開催 平成30年度より開催</p>	<p>愛知江南短期大学の閉学に伴う生涯学習の機会の減少 愛知江南短期大学の閉学に伴い、これまで愛知江南短期大学が担っていた生涯学習の機会の確保が必要</p> <p>コミュニティ・スポーツ祭のあり方を検討 人口減少によるコミュニティ・スポーツ祭への参加人数の減少 スポーツ推進委員などのなり手不足や運営負担の増加</p>

	成果	課題
柱 4	<p>芸術文化活動や国際交流が活発に行われていると感じる市民の割合の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業への参加者数が減少している中、美術展は継続実施することができた</p>	<p>芸術文化事業への参加者数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民文化会館の自主文化事業への参加者数が減少</p>
柱 5	<p>保育所入所申込者に占める入所児童数の割合の増加 保育所の入所を希望する申込者のうち、入所できた児童数の割合が増加</p> <p>ひとり親家庭への就労教育支援件数の増加 現況届提出時、広報、HP、子育てガイドブックなど、様々な媒体での周知の取り組みにより、就労教育支援件数が増加</p> <p>放課後子ども教室を全小学校区で開室 令和4年6月から全小学校区で事業開始</p>	<p>保育サービスの充実を感じる市民の割合の微増 保育サービスが充実しており、安心して子育てしていると感じる市民の割合が微増</p> <p>家庭児童相談等件数の減少 相談体制の周知不足に加え、コロナ禍による相談者の減少</p> <p>児童館活動参加回数の減少 コロナ禍による児童館利用者の減少 対象児童1人当たりの児童館活動参加回数の減少</p>

Ⅲしごとづくり分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

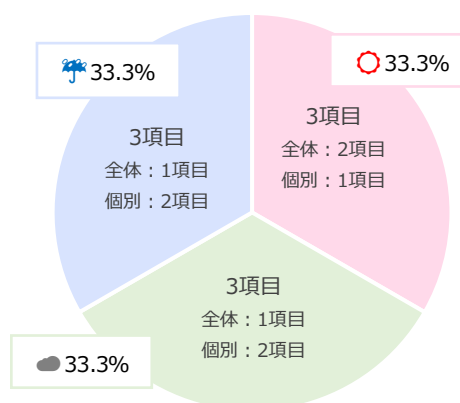
全体目標の平均目標達成率	87.2%	●
個別目標の平均目標達成率	76.3%	●

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱 1 商工観光・雇用就労	85.3%	59.4%
柱 2 農業振興	92.8%	101.7%

○	: 90%以上達成した
●	: 70%以上達成した
✖	: 達成していない

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱 1	<p>企業誘致による新規企業の立地 安良区域への企業誘致の結果、令和5年10月までに6社の立地が決定し、5社が操業を開始</p>	<p>観光客数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響により、こうなん藤まつりが中止になるなど、観光客数が大きく減少</p> <p>中小企業振興策の充実 中小企業向けの支援策を新たにスタートさせたが、さらなる中小企業振興策が必要</p>
柱 2	<p>農地利用集積面積の増加 農地中間管理機構などを活用した農地の利用集積の促進により、有効活用される農地面積が増加</p> <p>認定新規就農者の増加 今後の主要な担い手となる認定新規就農者数が増加</p> <p>農業用施設の更新 老朽化が著しい水路などの農業用施設に対する県営事業による改修を推進</p>	<p>耕作放棄地の増加 農業従事者の高齢化、担い手の減少により耕作放棄地が増加</p> <p>未改修農業用施設の早期更新 老朽化が著しい水路などの未改修農業用施設に対する早期の更新が必要</p>

IVちいきづくり分野

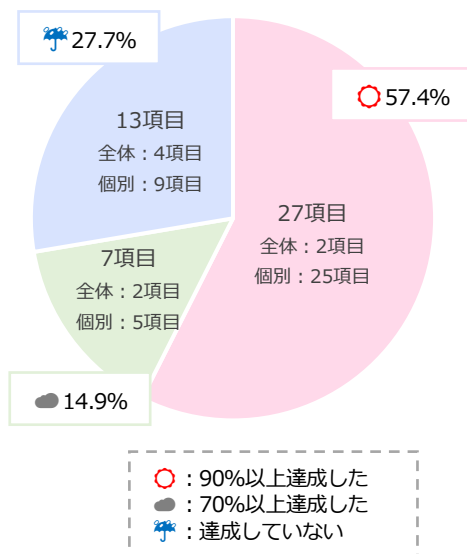
《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	72.8%	●
個別目標の平均目標達成率	94.0%	○

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 高齢者福祉	112.5%	87.6%
柱2 障害者福祉	48.4%	125.2%
柱3 生活支援・福祉活動	87.0%	78.8%
柱4 健康づくり	46.8%	84.8%
柱5 保険年金	84.9%	97.0%
柱6 防災・交通安全・地域防犯	57.2%	99.0%
柱7 消防・救急	97.5%	89.0%

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>携帯型緊急通報装置の導入 ひとり暮らしの高齢者などに対する緊急通報装置の設置を推進 固定電話を必要としない、携帯型の緊急通報装置を令和4年度から導入</p> <p>介護施設などの整備事業費の補助 介護施設などの整備及び開設時から質の高いサービスを提供するための体制整備、既存の介護施設の改修などを支援</p>	<p>緊急通報装置設置の促進 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、高齢者の安否確認の件数が増加しているため、今後も緊急通報装置の設置促進が重要</p> <p>地域包括ケアシステムの一層の推進 高齢者が住み慣れた地域で継続して生活ができるよう、介護ニーズの把握と、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備に対する支援が必要</p>
柱2	<p>障害福祉サービスの提供 以下の障害福祉サービスの利用実績の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援・就労移行支援サービス ・共同生活援助（グループホーム） ・通所支援サービス（児童発達支援など） 	<p>障害者に対する相談支援体制の充実 障害福祉サービスの提供は増加しているが、相談支援体制が充実していると認知されていないため、周知啓発が必要</p>
柱3	<p>生活保護世帯の高校進学率の維持 担当ケースワーカーが進路についての相談・助言を行うことで、進学率100%を維持</p>	<p>必要ときに地域で支えあう体制が整っていると感じる市民の割合の低迷 生活困窮者などが必要な支援を受けるための相談に至っていないと感じている市民の方の割合の向上を図るための周知啓発が必要</p>
柱4	<p>予防接種（高齢者インフルエンザ）の促進 高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成することにより予防接種の接種率が増加</p> <p>肺がん検診精密検査受診率の上昇 大腸がん検診精密検査受診率の上昇 精密検査未受診者勧奨を行うことにより、精密検査受診率が上昇</p> <p>乳児家庭全戸訪問の実施率の上昇 子育て世代包括支援センターの設置、妊娠届出時の面談や産後2週間コールの導入などにより、訪問率が上昇</p>	<p>予防接種（高齢者用肺炎球菌）の促進 令和6年度より70歳以上の方の経過措置対応が終了し、その後の対象者65歳の接種率の向上が必要</p> <p>こうなん健康マイレージ優待カード交換者数の増加 こうなん健康マイレージ事業の認知度向上による新規参加者の確保が必要</p> <p>要支援の妊産婦数の増加 予期せぬ妊娠、未婚、若年、経済的不安、母の精神疾患などの理由により、保健医療機関からの連絡件数が増加</p>

	成果	課題
柱 5	<p>後発医薬品使用の促進 お知らせにより後発医薬品への切り替えを促し、高い使用率を達成</p>	<p>特定健康診査受診率の伸び悩み 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が目標値に対し大きく乖離</p> <p>後期高齢者健康診査受診率の減少 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が低下</p>
柱 6	<p>各家庭の防災意識の向上 総合防災訓練や自主防災訓練などの実施、防災ハンドブックの配布により、市民満足度調査の各家庭の防災意識が向上</p> <p>交通事故発生件数の減少 交通安全啓発キャンペーンの実施や交通安全施設の整備などにより、交通事故発生件数が減少</p> <p>犯罪発生件数の減少 防犯啓発キャンペーンの実施や防犯灯設置の補助事業の推進により、犯罪発生件数が減少</p>	<p>防災用資機材助成の申請率の低下 各地区の防災意識に差があり、ここ数年防災用資機材助成を申請していない地区があるため、防災用資機材助成の申請率が低下</p>
柱 7	<p>消防団員（水防団員）の定数維持 全国的に減少しているが、処遇改善に取り組むなどして定数を維持</p> <p>救急救命士運用者数の増員 職員からの養成、資格取得見込み者を新規採用することで対象者を増員</p> <p>防火管理者の選任率 該当事業所に対する資格取得を促進し、防火管理者の選任率が向上</p> <p>優良危険物施設率の確保 毎年度、すべての危険物施設について立入検査をすることにより、不備事項を改善させ安全な維持管理を実現</p> <p>防火水槽の計画的な震災対応化 防火水槽の耐震化の目標を令和 7 年度までに 20 箇所と設定し、令和 5 年度までに 14 箇所を実施</p>	<p>火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合 市民満足度は向上しているものの、目標値には未達</p> <p>住宅用火災警報器の設置率 設置率は向上しているものの、目標値には達せず、さらなる周知啓発が必要</p> <p>耐用年数を過ぎた防火水槽の整備 435 基ある防火水槽のうち、50 年以上経過しているものが 250 基あり全体の約 57%を占め、今後も老朽化が進むことが見込まれる（令和 5 年 4 月 1 日現在）</p>



V 行政分野

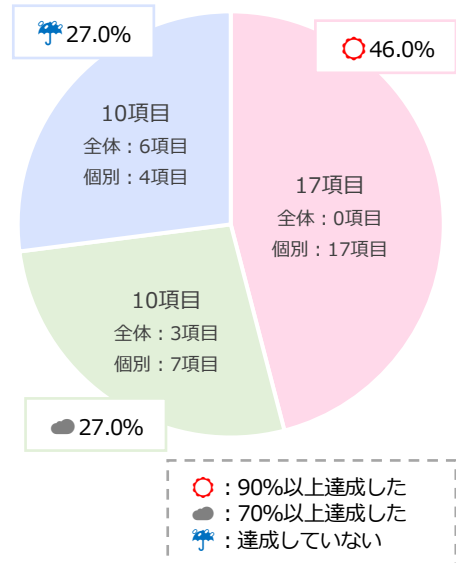
《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	57.5%	
個別目標の平均目標達成率	116.3%	

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 市民協働	35.4%	129.9%
柱2 政策・人事	47.3%	117.9%
柱3 市民生活	84.8%	113.5%
柱4 男女共同参画	60.9%	69.6%
柱5 行政経営	47.9%	225.4%
柱6 課税・収納	50.5%	95.9%
柱7 行政事務管理	89.3%	80.8%
柱8 議会運営への支援	54.2%	—

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>ホームページのアクセス件数の増加 広報こうなん、市公式LINEなどのSNSからホームページへの誘導を図ったことで、ホームページのアクセス件数が増加</p> <p>江南市地域交流センターの開館 協働のまちづくりを進めるため、令和5年度に、布袋駅東複合公共施設内に地域交流センターを開館</p>	<p>地域コミュニティの団体数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響による活動機会の減少や、会員の高齢化などを背景に、地域コミュニティの団体数が減少</p>
柱2	<p>実効性のある政策推進 政策実施のための財源確保や、市民ニーズに沿った政策を推進 ・スクラップ&ビルドの実施 ・特別定額給付金給付事業 ・布袋駅東複合公共施設の整備 など</p> <p>働き方改革の推進 ワークライフバランス、女性活躍、SDGsなどをテーマにした職員研修を実施</p>	<p>事業手法の見直し 多様化する市民ニーズに即した事業の展開による、より市民満足度を向上させるための様々な事業手法の検討</p> <p>計画的な人事管理 職員の定年の引上げに伴う、高齢期職員の豊富な知識・経験を活かす、計画的な人事管理の実施</p>
柱3	<p>住民票などのコンビニ交付の開始 令和2年度から全国のコンビニエンスストアなどのマルチコピー機で住民票の写し及び印鑑登録証明書の取得を開始</p> <p>スマート申請サービスの導入 令和4年度から戸籍謄本・抄本、戸籍の附票、单身証明書、身元（身分）証明書をスマートフォンとマイナンバーカードを利用し、オンラインで交付申請できるスマート申請サービスを導入</p>	<p>手続き負担軽減と繁忙期などの窓口の混雑緩和 繁忙期などの、来庁者の長時間の待ち時間が発生した際の、窓口混雑の解消</p>
柱4	<p>審議会などにおける女性委員の登用率の上昇 毎年度庁内各課へ女性委員の積極的な登用を依頼</p> <p>性的少数者の理解促進 性の多様性の観点から性的少数者の理解を深めるセミナーを開催 令和5年度にパートナーシップ制度を導入</p>	<p>審議会などにおける女性委員の登用率 市審議会について上昇はしているが、県の登用率よりは低く、委員のなり手の確保が必要</p>

	成果	課題
柱5	<p>公共建築物の更新費用の財源不足額が解消された割合の上昇 施設の配置適正化などにより、財政負担を軽減</p> <p>行政改革の推進 「第八次行政改革大綱」に掲げた50件の取り組みのうち、25件を実施し、行政の簡素化・効率化に対して一定の成果達成</p>	<p>計画的で健全な財政運営 少子高齢化による生産年齢人口の減少などにより、基幹的収入である市税の増加は見込めない中、公共施設などの老朽化への対応や、市民ニーズの多様化により、財政需要の増加が見込まれ、老年人口の増加により、社会保障費が増大</p>
柱6	<p>収納率の向上 滞納処分などの実施により、収納率が向上</p> <p>スマートフォン決済アプリによる納付方法の拡充 令和2年度から市税などの納付にスマートフォン決済を導入</p> <p>課税誤りによる更正・決定の件数の減少 入力誤りや過去の課税処理誤りなどのミスを是正することにより減少</p>	<p>口座振替加入者数の確保 コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリでの納付の増加に伴い、口座振替加入者数が減少</p> <p>公平・適正な課税・収納に対する満足度の低迷 毎年の税制改正による制度の複雑化を背景に、公平・適正な課税がされていると感じる市民の割合が低迷</p>
柱7	<p>情報システムの安定稼働 情報システムが停止することなく、安定稼働を確保</p> <p>庁舎施設の老朽化に起因する不具合の予防保全 令和2・3年度に本庁舎空調設備の取替を実施したことにより、庁舎施設の老朽化に起因する不具合を未然に防止</p> <p>歳計現金の有利子運用 歳計現金の運用を行い、利子収入を確保</p> <p>歳入事務関係システムの整備 市の歳入管理に必要なシステムの整備を実施</p>	<p>市長・市議会議員選挙投票率の向上 政治への関心の低下や若者の選挙離れなどから全国的に投票率が減少傾向</p> <p>口座振込で支払う際の手数料の発生 口座振込で支払う際の手数料が有料となることによる費用負担の発生</p>
柱8	<p>議会映像アクセス件数の増加 議会のようなすが広報やホームページなどにより、広く情報発信されたことにより、議会映像アクセス件数が増加</p>	<p>傍聴者数の減少 コロナ禍を背景に、本会議の傍聴者数が減少</p>



「第三章 後期基本計画」

目標フレーム

計画策定の基本となる指標として、第6次江南市総合計画の計画期間である平成30年度から令和9年度における人口・財政・土地利用のフレームを次のように設定します。

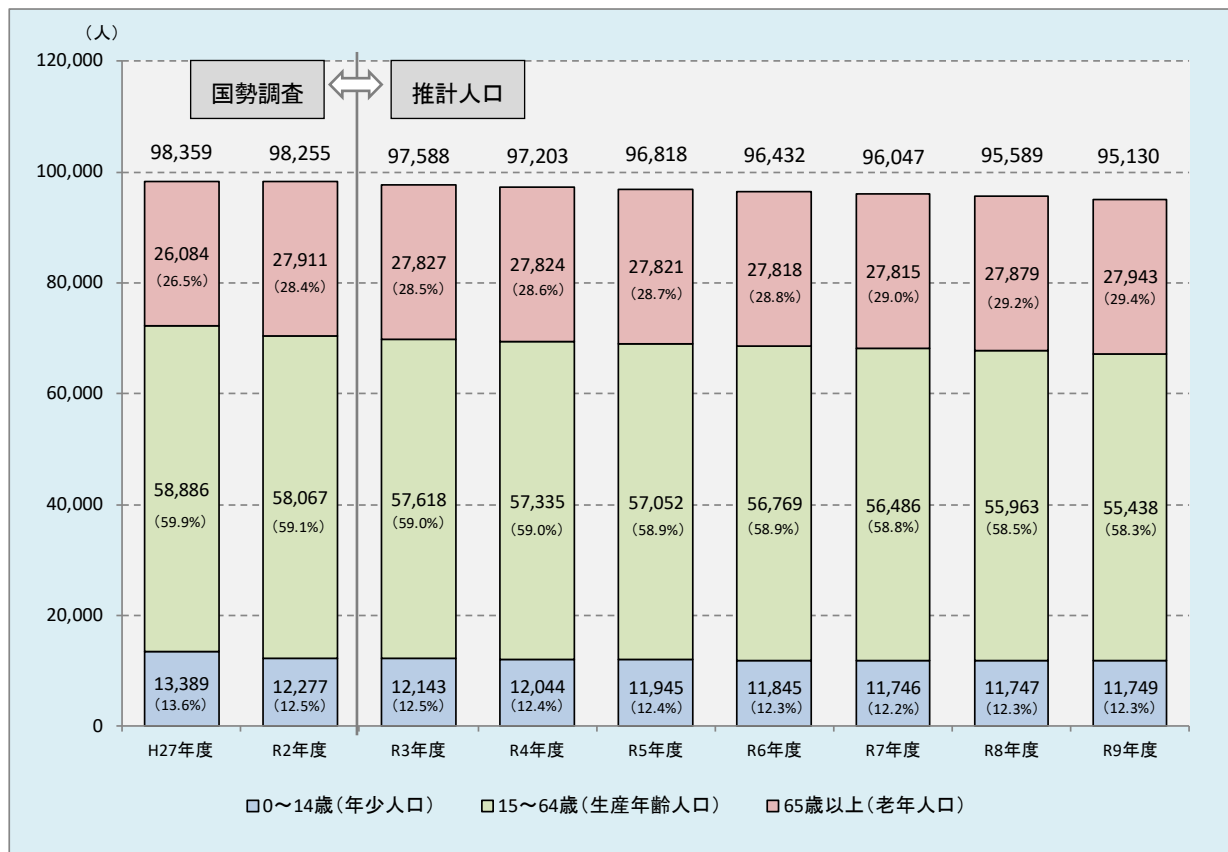
《人口》

◆人口の見通し

「人口ビジョン」における人口推計をもとに平成27年・令和2年国勢調査結果による補正を行い、総人口及び年齢3区分別の人口を推計しました。

- ・ 令和9年度の目標人口95,100人を維持
- ・ 推計人口は継承しつつ、年齢別人口比は、最新の国勢調査（令和2年度）などを踏まえ見直し

【総人口・年齢3区分別人口の見通し】



◆将来目標人口

人口見通しでは、今後、継続的な人口減少が見込まれますが、「総合戦略」における人口減少抑制策の実施を、「第6次総合計画」においても持続的に取り組むことにより、基本構想に掲げる市の将来像「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市 ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」をめざすこととし、将来目標人口を以下のとおり設定します。

令和9年度目標人口 95,100人

年 度	平成27年度 (国勢調査)	令和2年度 (国勢調査)	令和9年度	
			(H30：計画策定時)	(R6：計画改訂時)
総人口	98,359人	98,255人	95,100人	95,100人
年少人口 (0～14歳)	13,389人	12,277人	12,500人	11,800人
生産年齢人口 (15～64歳)	58,801人	58,067人	55,800人	55,400人
老年人口 (65歳以上)	26,169人	27,911人	26,800人	27,900人

《財政》

令和6年度から9年度までの財政状況を一般会計ベースで見直しました。

(単位：百万円)

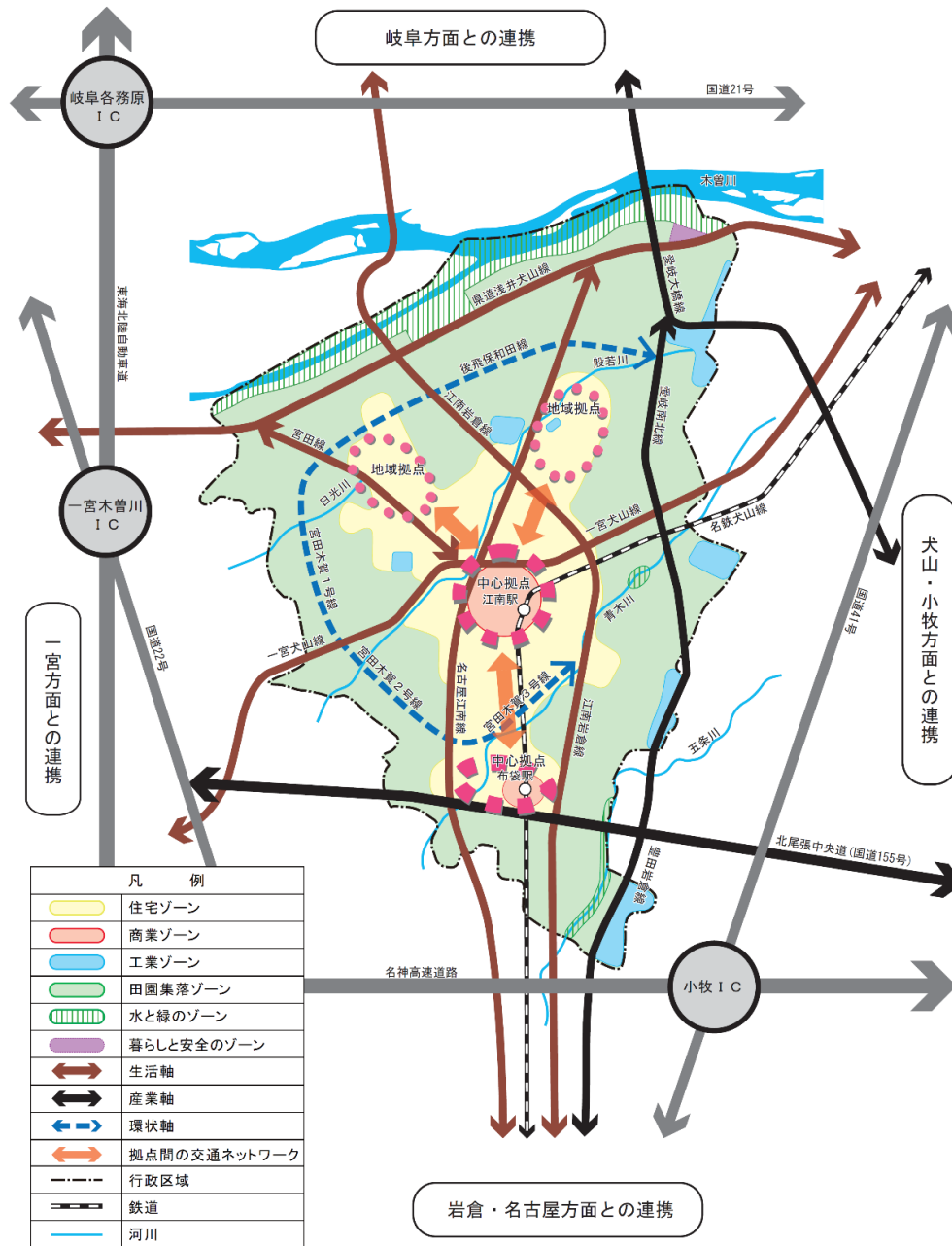
年 度	6	7	8	9	
歳入総額	31,922	34,081	32,645	33,037	
自主財源	市 税	13,233	13,293	13,354	13,236
	そ の 他	2,662	2,662	2,662	2,671
依存財源	市 債	959	3,036	1,443	1,890
	地方交付税	4,251	4,061	3,944	4,211
	そ の 他	10,817	11,029	11,242	11,029

年 度	6	7	8	9	
歳出総額	31,922	34,081	32,645	33,037	
義務的経費	人件費	6,487	6,539	6,652	6,527
	扶助費	8,217	8,688	8,898	8,887
	公債費	2,618	2,534	2,439	2,370
投資的経費	1,692	4,099	2,803	2,795	
その他経費	12,908	12,221	11,853	12,458	

- ◆自主財源とは 市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税（市民税、固定資産税など）です。その他には、分担金・負担金（市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金）や使用料（公共施設を利用したときに徴収されるお金）、手数料（証明書などの交付を受けたときに利用者が負担するお金）、諸収入（他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入など）などがあります。
- ◆依存財源とは 国や県の意思決定により収入される財源で、主なものは市債、地方交付税です。その他には、地方譲与税や利子割交付金、地方消費税交付金、国庫・県支出金などがあります。
- ◆義務的経費とは 任意に削減できない極めて硬直性が強い経費で、人件費（職員給与など）、扶助費（生活保護費など）及び公債費（地方債の元利償還金など）などがあります。
- ◆投資的経費とは 道路、橋りょう、公園、学校の建設など社会資本の整備などに要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費があります。
- ◆その他経費とは 義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費（旅費や備品購入費、委託料など）、維持補修費（公用・公共施設などの修繕に係る経費）、補助費（民間団体や他の地方公共団体などが行う事業に対して支出する補助金や負担金など）、繰出金（特別会計へ支出する経費）などがあります。

《土地利用》

市域を6つのゾーンに区分し、各ゾーンの調和がとれた計画的な土地利用を進めます。



◆住宅ゾーン

安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進めます。

◆商業ゾーン

市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成します。

◆工業ゾーン

市内における就業の場となる活力ある工業ゾーンとして、周辺環境に配慮しつつ、今後も地域経済に貢献していきます。

◆田園集落ゾーン

都市空間にゆとりをもたらすゾーンとして、市街化を抑制し、農地の多面的な機能を維持・活用します。

◆水と緑のゾーン

木曾川や五条川沿いの恵まれた水辺や緑地など身近な自然を保全し、生活にゆとりとうるおいを提供するとともに、レクリエーションの場として活用します。

◆暮らしと安全のゾーン

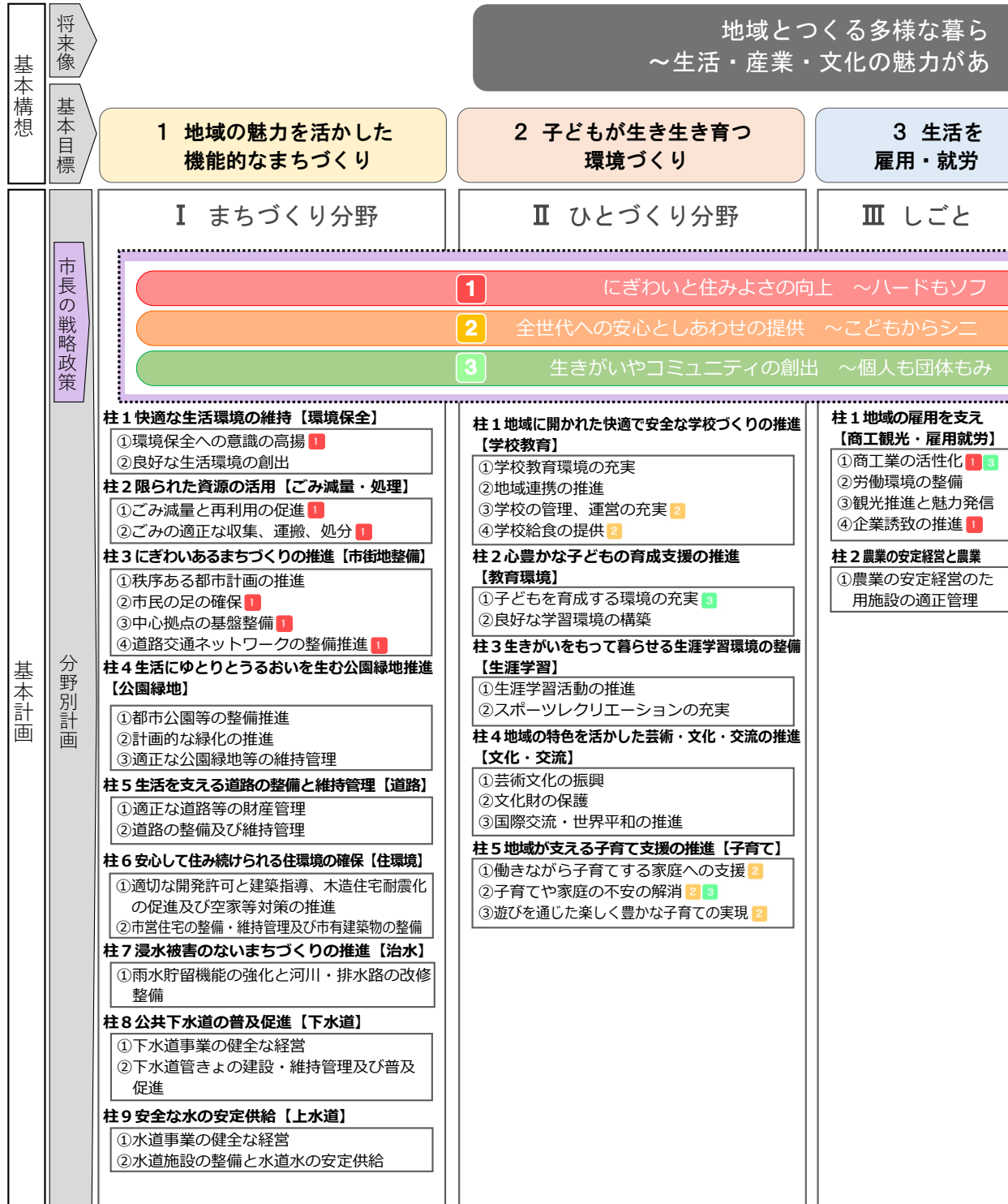
暮らしと安全のために必要な公共施設用地として活用します。

分野別計画

基本計画は、基本構想に位置づけられた江南市の将来像の実現を図るため、5つの基本目標に対応した5分野により構成し、分野ごとにめざす成果を柱立てし、展望や目標、関連する取り組みを「分野別計画」として示します。

また、人口減少社会を前提とした総合計画として、江南市の将来像である、「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」を実現するため、市長が強く推進する政策を「市長の戦略政策」として示します。

《基本計画の成果体系》



【市長の戦略政策の特徴】

- ・市長の政策ビジョンを示す
- ・分野別計画の中から市長が強く推進する施策（事業）を示す
- ・分野を横断して施策を効率的・効果的に実施するための仕組み
- ・市長任期の更新とともに見直される

【分野別計画の特徴】

- ・市民と行政の協働により策定・進行管理をする
- ・基本構想の5つの基本目標に対応した5つの分野から構成
- ・成果指標を設定した成果志向型の計画

しを選べる生活都市
ふれ、選ばれ続けるまち～

支える
環境づくり

4 安心・安全の
地域づくり

5 常に改革を進める
行政

づくり分野

Ⅳ ちいきづくり分野

Ⅴ 行政分野

とも快適で住みよさを実感できるまち～

アまですべての世代がしあわせを実感できるまち～

んなが活躍できる生きがいを実感できるまち～

産業の育成支援

施設管理【農業振興】
めの支援と農業

**柱1 安心・安全な地域づくりの推進
【防災・交通安全・地域防犯】**

- ①災害対策活動の充実・強化、有事対策の確立 ②
- ②交通安全及び防犯施策の推進 ③

柱2 支え合う地域社会の推進【地域福祉】

- ①地域福祉の推進 ②
- ②社会福祉関係団体などの連携推進

柱3 介護保険制度の健全な運営【介護保険】

- ①介護保険サービスの提供、介護保険事業の適正運営 ③

**柱4 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進
【障害者福祉】**

- ①障害者の日常生活及び社会生活への支援 ③

**柱5 地域で支え合う生活支援のための体制の確保
【生活支援】**

- ①生活困窮者への自立支援

柱6 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

- ①医療保険の健全運営
- ②国民年金制度の理解促進

**柱7 誰もが活躍できる健康な生活の確保
【健康づくり】**

- ①健康の増進・保持
- ②感染症予防 ③
- ③母子保健
- ④医療体制の整備

**柱8 市民の安心を守る消防・救急体制の充実
【消防・救急】**

- ①消防体制の充実 ②
- ②市民・事業者の防火意識・防火体制の向上
- ③火災・救急救助体制の強化

柱1 地域協働の推進【市民協働】

- ①地域協働の促進 ③
- ②地域情報の発信・収集

**柱2 総合的な政策の推進と職員の人材育成
【政策・人事】**

- ①職員の人材育成と適正な人事管理 ①
- ②中長期的な政策立案の推進 ① ③
- ③DXの推進 ①

柱3 市民相談・窓口サービスの充実【市民生活】

- ①窓口サービスの向上 ①
- ②市民生活相談の充実・知識の向上

柱4 男女共同参画社会の形成【男女共同参画】

- ①男女共同参画社会の形成 ③

柱5 計画的な行政経営の推進【行政経営】

- ①計画的で健全な行財政運営の推進
- ②公共施設の最適な利用及び配置 ①

柱6 公平かつ適正な課税・収納【課税・収納】

- ①公平かつ適正な課税
- ②市税等収納管理の充実

**柱7 適正かつ効率的な事務による開かれた行政
【行政事務管理】**

- ①適正な事務管理
- ②資産の適正な管理運用
- ③行政委員会の適正な運営

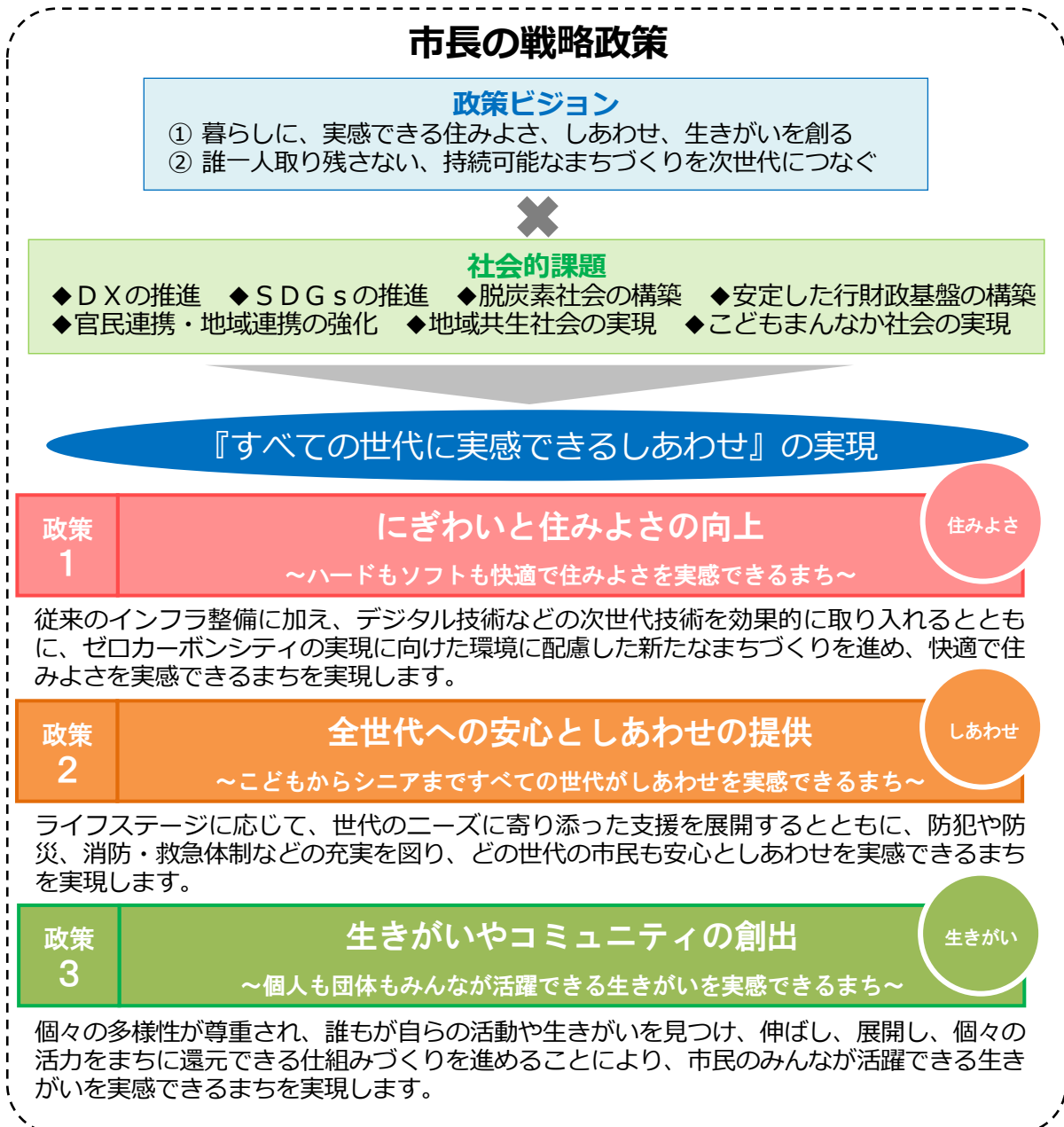
**柱8 より開かれた適切な議会運営への支援
【議会運営への支援】**

《基本的な考え方》

市長の戦略政策は、『すべての世代に実感できるしあわせ』を届けるための政策として、分野を超えた戦略的な事業実施に取り組みます。

これにより、江南市に暮らすすべての人が住みよさ、しあわせ、生きがいを実感でき、“明日が今日より楽しい一日”になるような暮らしの実現と、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進め、次世代につないでいくことをめざします。

また、各政策に取り組む上で、現代社会において取り組まなければならない様々な課題（DXの推進、脱炭素社会の構築、パートナーシップ（連携）の強化など）にも確実に対応し、市長の戦略政策として3つの政策を掲げ、各政策において戦略プロジェクトを位置づけ、重点的・優先的に事業実施に取り組みます。



《ライフステージから見る市長の戦略政策》

市長の戦略政策では、江南市に暮らすすべての人が住みよさの実感、しあわせの実感、生きがいの実感ができるようにライフステージに応じた豊かで穏やかな暮らしの実現をめざします。

未来への希望となるこどもに対しては、保育園や学校施設をはじめとしたこどもの居場所の充実や、こどもの悩みに寄り添うきめ細やかな支援により、健やかに育っていける環境をつくれます。

次世代を担うパワーである若者に対しては、若者の社会参加や経済面での支援を行い、若者が全力でやりたいことができるよう、若者の夢を応援します。

地域を支える原動力である働く世代に対しては、新工業用地整備による就労機会の確保や子育てにおける負担軽減などに取り組み、働く世代にゆとりを届けます。

まちの財産であるシニアに対しては、住み慣れた地域で生活するための支援の充実や、デジタルの活用支援などを進め、生きがいをもてる健康長寿の暮らしを支援します。

【ライフステージ別から見る市長の戦略政策の概要】

	市長の思い	市長の戦略政策
こども	<p>こどもは未来への希望です。 こどもの個性や多様性を伸ばし、悩みに寄り添います。 こどもがのびのびと遊び、学び、家庭環境に左右されることなく、大きく育っていける環境をつくれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ こども関係施設の利便性向上（政策2） ▪ オーガニック給食の提供（政策2） ▪ 学童保育所の待機児童ゼロ（政策2） ▪ こどもの個性・多様性を伸ばす学びの場の充実（政策3） ▪ ヤングケアラーサポートの充実（政策3）
若者	<p>若者は次世代を担うパワーです。 若者が全力でやりたいことができるよう、若者の夢を応援し、希望を叶えることで、明るい明日につなげます。 次世代を担う活力として、若者の声を行政に反映し、ともにまちを創ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 奨学金返済支援と市内定住の促進（政策3） ▪ 若者と共創するまちづくり（政策3）
働く世代	<p>働く大人は地域を支える原動力です。 ワークライフバランスの取れた経済的、時間的なゆとりを確保するとともに、仕事や家族、地域との生活に生きがいや楽しみを感じられるよう、働く世代をサポートします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ごみ出しの負担軽減と利便性向上（政策1） ▪ 産業基盤の整備（政策1） ▪ こども関係施設の利便性向上（政策2） ▪ 学校給食の一部無償化（政策2） ▪ おむつの回収とサブスク実施（政策2） ▪ 子育て世代への経済的支援（政策2）
シニア	<p>輝くシニアはまちの財産です。 培った知恵や知識、経験を地域に還元するとともに、シニアが住み慣れた地域で元気に過ごし、デジタル化などの新しい分野に対しても、学び続けられる環境を整え、生きがいをもって健康長寿に暮らせるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 公共交通の連携による利便性向上（政策1） ▪ eスポーツによる健康増進・交流促進（政策3） ▪ シニアへのデジタル活用支援（政策3） ▪ 带状疱疹ワクチン接種の助成（政策3）

《市長の戦略政策》

政策
1

にぎわいと住みよさの向上

～ハードもソフトも快適で住みよさを実感できるまち～

住みよさ

地域経済の基盤となる産業基盤の確保・育成に取り組むとともに、脱炭素社会の実現に向けた市民の取り組みや持続可能なまちづくりを支援し、デジタル技術などを積極的に活用することによる市民サービスの向上や、拠点施設や公共施設の整備にあわせ、まちの魅力向上を図ります。

産業基盤の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・曾本地区に新工業用地整備 ・市内産業の経営安定化 ・公共施設での出店支援 	ゼロカーボンシティの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策への取り組み支援 ・LED化、次世代自動車の導入 ・資源ごみの分別区分の見直し
デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性向上 ・市民窓口の混雑緩和 ・行政事務の効率化 	魅力あふれる拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の再配置推進 ・新ごみ処理施設西側エリア整備

戦略政策

- 1 脱炭素社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ江南」の推進
- 2 リサイクルステーション増設とごみ収集方法の見直しによる、ごみ出しの負担軽減
- 3 デジタル技術を活用した公共交通サービスの利便性向上
- 4 市の中心拠点江南駅・布袋駅エリアの都市基盤整備の推進
- 5 市内産業の経営安定化による地域経済の活性化
- 6 曾本地区への新工業用地整備による雇用創出と自主財源の確保
- 7 「デジタル・スマート市役所」の推進
- 8 パブリックスペースを活用した新ビジネスの支援と地域のにぎわい創出
- 9 新ごみ処理施設の西側エリアにレクリエーション施設を整備
- 10 公共施設の再配置による魅力あふれる公共施設の整備

政策
2

全世代への安心としあわせの提供

～こどもからシニアまですべての人がしあわせを実感できるまち～

しあわせ

子育て支援の拡充により子育て世代の負担軽減を図るとともに、こどもの居場所となる様々なこども関係施設の充実に取り組み、生活にゆとりと楽しみを創出します。また、(仮称)多世代交流プラザの整備により、世代間交流や国際交流の拠点を作るとともに、重層的支援体制の構築による地域で見守る地域福祉社会の実現に向けて取り組みます。さらに、地域防犯・地域防災の強化と消防拠点の適正配置を進め、安心して生活できるまちをめざします。

子育て支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ回収、サブスク導入 ・学童保育所待機児童ゼロ推進 ・子育て世代への経済的支援 	こども関係施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガニック給食の導入 ・多様な保育サービスの提供 ・こども関係施設の利便性向上
多世代交流・地域福祉社会	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流プラザの整備 ・重層的支援体制の整備 	防犯・防災などの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置支援 ・自立型ソーラースタンド設置 ・北部消防拠点の形成

戦略政策

- 1 こども関係施設(保育園・小中学校・学童保育所など)の利便性の向上
- 2 学校給食費の一部無償化とオーガニック給食の提供
- 3 保育園でのおむつの回収とおむつのサブスクを実施
- 4 公共施設の複合化による多世代多文化交流施設の整備
- 5 子育て世代への経済的支援による出産・子育ての応援
- 6 学童保育所の待機児童ゼロに向けた体制整備と民間活力の活用
- 7 平時は環境にやさしく、有事には心強い自立型ソーラースタンドの設置
- 8 消防体制の充実を図る北部拠点の形成と防災情報伝達の確実性の向上
- 9 防犯カメラの設置支援による安心・安全なまちの実現
- 10 重層的支援体制の整備による地域ふくしの推進

困難な状況にある若者を、地域や社会が見守り寄り添う体制を構築し、次世代を支える若者の夢を応援するとともに、シニア世代の生涯にわたる生きがいづくりを支援するため、デジタルデバイドの解消や健康長寿の取り組みを強化します。また、ライフスタイルや価値観の多様性が十分に尊重される社会を実現するため、パートナーシップ制度の導入や障害者の社会参画を促進するとともに、若者の声を積極的に行政に反映していきます。さらに、SDGsによる官民連携や自治会の事務負担軽減支援などに取り組み、さらなるパートナーシップの強化や持続可能な地域コミュニティの形成を進め、地域全体で地域課題の解決を図ります。

若者の夢をサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童対策の充実 ・ヤングケアラー支援 ・奨学金の返済支援 	シニア世代の健康長寿実現	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイドの解消 ・eスポーツの活用機会の拡大 ・带状疱疹ワクチン接種の助成
多様性のある社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ制度の導入 ・障害者の就労支援 ・若者の声を行政に反映 	SDGsによるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs登録制度による連携 ・自治会の事務負担の軽減

戦略政策

- 1 学校に行きたい、自分らしく学びたい児童・生徒の個性や多様性を伸ばす学びの場の充実
- 2 ヤングケアラーを1人にさせない地域で支える仕組みづくり
- 3 次世代を担う地域の活力、地元で働く若者の奨学金返済を支援
- 4 eスポーツの活用機会の拡大
- 5 シニアへのデジタル活用支援や健康長寿促進による暮らしのサポート
- 6 障害者への就労支援や生きがいの創出による社会参画の促進
- 7 若者の社会参加を促進し活力あふれる地域社会の共創
- 8 担い手不足解消に向けた自治会の負担軽減
- 9 誰一人取り残さない「SDGsでつながるまちづくり」による地域活性化
- 10 ジェンダー平等の実現による誰もが暮らしやすい社会の実現



布袋北学童保育所



超小型電気自動車



SDGs週間 (KONAN SDGs Week)



江南市男女共同参画市民フェスタ

第6次江南市総合計画後期基本計画の
詳細は、[市ホームページ](#)でご覧いただけ
ます。



第6次江南市総合計画後期基本計画

令和6年3月

発行／愛知県江南市

〒483-8701 江南市赤童子大堀 90 番地

電話 (0587) 54-1111 (代)

編集／企画部 秘書政策課